

大空に翔ける



令和2年度 日之影中学校だより



7月号

校長

伊東 泰彦

生徒の活動が活性化してきました！



▲生徒玄関前に掲示された、令和2年度の生徒会スローガン

活動期間中に生徒玄関に掲示された手作りポスター▼

今回の環境美化活動は、町内をきれいにすることを目的に行いました。今年度初のゴミ拾いでもあったので、みんなが拾ってきてくれるか不安もありましたが、全学年が積極的に参加し、たくさんさんのゴミが回収できました。特に一年生ががんばってくれたのがうれしかったです。一人一人の意識が高く、充実した活動になりました。 中山 樹莉



日之影中学校生徒会では、年間を通じてペットボトルのキャップ回収（エコキャップ運動）に取り組んでいます。集めたキャップは町の社会福祉協議会に届けます。

※エコキャップ運動により、リサイクルの促進、Co2の削減、売却益による途上国支援、障がい者や高齢者の雇用促進などができます。

いつも見守りありがとうございます！



いつも朝早くから私たちの安全を見守ってくださり、ありがとうございます。

この交差点は車の通行量が多いけど、甲田さんと山本さんのおかげで生徒全員が安心して通れます。私たちがあいさつをすると、必ず笑顔で「おはよう」と返してくださいさることもとても嬉しいです。甲田さん・山本さんの返してくださいさるあいさつで「今日も一日がんばろう！」という気持ちになります。私たち生徒も、人を気持ちよくさせるようなあいさつをしていきたいと思っています。

これからすぐ暑くなってくると思いますので体調管理に気をつけてください。これからどうぞよろしく願います。

瀧川さくら

部活動の大会等について



今年度は、新型コロナウイルス感染防止の影響で、ほぼすべての大会が中止または規模縮小となっています。

中体連の大会も、例年の「地区予選→県大会…」という方式は中止となり、西臼杵大会を県大会という位置付けで行うか、陸上・水泳のように宮崎市で一括開催するかというスタイルで行います。

応援についても、「全員、検温の上マスク着用」「声を出さずに拍手のみ」「人数の制限」等、例年と比べるとかなり制限がかかることとなり、保護者やご家族の皆様にはご迷惑をかけることとなります。(詳細は部顧問から連絡があります)

特別な状況となっておりますので、何卒ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

思考力を鍛える授業に取り組んでいます！



今年度の本校の研究テーマは「思考力の育成」です。子どもたちに将来必要となる力を育成すべく、全職員で取り組んでいます。

思考を可視化し、整理したり活性化したりするための「思考ツール」の活用にも取り組んでいます。粘り強く考えたり分かりやすく説明したりする力がついてきました！

総合的な学習の時間が始まりました！

総合的な学習の時間については、コロナウィルス感染拡大防止や休校の関係で時間割を入れ替え、スタートを遅らせていましたが、6月より本格スタートすることができました。

次ページの「ひのかげの郷」

対話形式で語っていただいたりする学習活動がかなり増えてきました。様々な体験メニューやフィールドワーク、対話しながらの思考など、先生方の工夫や地域の方々のお骨折りにより、その内容もかなり充実していると感じています。こうして取

組が、将来、日之影の未来について考え続けたり、何らかの形で町に関わり続けたりする人材の育成に繋がってほしいと思います。ご協力いただく皆様、ありがとうございます。



校内ハローワークで1年生が造ったミニ盆栽



- ▲ 6/26校内ハローワークで、
- ◀ 造園、畳、林業関係の方々に
- ▼ お世話になりました。



六月十一日、役場地域振興課・飯干係長によるスタートアップ会議（3年）



▼6/25 町内歴史探訪で地域の方々やバス運転手さんにお世話になりました。



▼6/11 水永正憲氏によるキャリア教育特別講話(2年)

▼6/11 町観光協会のお二人による町内のガイドマップ概説授業



ひのかげの郷

【地域協働による参画型授業の試み】

来年度から施行となる中

学校学習指導要領では、①知識・技能の習得だけでなく、②それをどう使うかという思考力等の育成や、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の育成の三つが「学力」の要素として示された。今後の激変社会を想定すると、中でも③の重要性は明白だが、学校はまだそのノウハウを十分に持っているとは言いがたく、令和時代における教育課題の一つと言えそうである▼ではどうするか。町内には高校がないことから、子どもたちが日之影の「ひとものこと」を題材に学ぶのは、基本的には中学3年が最後の機会となる。そこで本校では、昨年度町のキャリア教育計画策定に合わせて総合的な学習の時間を見直すこととし、中学3年のメイン学習を、ひのかげの今と向き合い未来について考える「ひのかげ近未来会議」と設定した。具体的には、中学生たちが本町の中山間的課題5つを設定し、その課題解決について探究する学習である。こうした学習はPBL(Project Based Learning)と呼ばれ、総合学科を有する高校などで取り組まれている▼この学習の最大の長所は、学生たちに住民としての「当事者意識」が醸成されることとされている。一方で、子ども任せにすぎると現実離れた夢物語を提案して終わり…ということに陥りやすいため、ポイントは我々大人がいかに適切な支援を行っていくかにある▼本校はへき地校のため職員は3年で入れ替わっていく。そのような子どももたちへの支援を行い続けるには地域の方々の力を借りながら、学校と地域とが協働するしくみを構築することが大切で、それを文科省は「地域学校協働活動」と謳っている。今回の授業では、町教委はもとより、町の地域振興課、農林振興課、保健センターの方々にメンターとして入っていただき、多大なるご支援をいただいている。おかげで生徒たちも真剣に探究学習に取り組んでおり、8月の中間発表、11月の近未来会議が楽しみになりつつある▼こうした協働は、3年生だけでなく、1年の歴史探訪や校内ハローワーク、2年の職場学習や販売PR活動でも展開されている。町の皆様方のあたたかいご支援に深く感謝しております。(校長・伊東泰彦)



※メンターとは、仕事上（または人生）の指導者、助言者の意味

※地域学校協働活動…地域の幅広い住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。



【7・8月の主な行事】

7月

- 14日…日之影中学校教育懇話会
- 21日…中体連激励会、町文教視察
- 23～25日…中体連西臼杵地区県大会
- 28日…1学期終業式
- 30日…町内教職員研修会

8月

- 7日…中学校オープンスクール
- 12～14日…学校閉庁日
- 20日…登校日、ヒノカフェ①(3年生)
- 26日…二学期始業式
- 27・28日…PTA奉仕作業

